



未来の技術者・経営者の皆さんへ

教育後援会会長 伊本 淳平

誠にありがとうございます。

詳細は5月の総会にてご報告致しますが、平成29年度に於きましては、皆様より頂いた助成金、バザーの売り上げ共に過去最高額を更新できました。これもひとえに皆様(教育後援会役員の皆さんも含め)のご協力のおかげであり、重ねて御礼申し上げます。

唐突ですが、昨年の教育後援会だよりに寄稿した内容があまりにつまらないと元会長の顧問より酷評されましたので今年はカジュアルにいきたいと思います。

今年度も文化祭ではバザーを開催させて頂きましたが、会場では、とある保護者の方からお子様部活の合宿で泊まった宿泊施設の環境がとても良かったとのことで、後援会のおかげですとお礼を頂きました。実際は保護者の皆さまからお預かりした助成金を学校に寄付という形でお渡ししただけと言えただけですが、大変嬉しく思いました。後援会に関わって5年になりますが、今までそのような経験はありませんでした。もしも同じように助成金のおかげでお子様に良いことがあったと思われる保護者の方は、お近くの後援会役員さんに労をねぎらう一言をお掛け頂ければ幸いです。

もう一つ、バザー会場での出来事。私は本校が東京工業大学工学部附属工業高等学校と呼ばれていた頃の機械科卒ですが、当時の担任の先生(長谷川雅康教官)がいらっしゃり、私の胸に着いている「後援会会長」の名札を見て「出世したねえ～」と仰いました。まあ、会社ではあまり出世してないので、そんなこと言われる機会も無く、これも後援会のおかげ、役得と素直に喜んでおきました。

これを読んでいる在校生の皆さんは、将来はがんばって出世して下さいね。かの本田宗一郎氏も最初は町のバイク屋から始め、毎朝数人の社員に向かってミカン箱の上から「世界一になるぞー」と檄を飛ばしていたそうです。後の1987年以降に世界の F-1 Grand Prixで多くの優勝を飾った HONDAの創始者にもそんな伝説があります。

HONDAと言えば、今では当たり前のエアバッグを国産車で初めて搭載(1987年 HONDA LEGEND)した企業ですが、大学の授業で開発責任者の方にお話しを聞く機会がありました。当時開発費には10億以上掛かり、社内の反対も多かったそうです。それでも発売にこぎつけ、その年には4台の搭載車が事故を起こしましたが、運転手は全員エアバッグのおかげで助かったそうです。「たった4台の為に10億?」そんな声もあったそうですが、その方は「一人あたり、たった2億5千万円で命が救えたんですよ。オヤジ(宗一郎氏の社内での愛称)も喜んでました。」と仰ってました。格好良かったですよ。在校生の皆さん、将来はそんな素敵な技術者や経営者になって下さいね。後援会はいつでも皆さんを応援しています。

教育後援会では庭園見学会やお料理教室などの、保護者同士の親睦の場も設けており、役員の皆さん自身も楽しみながら企画しておりますので、機会がありましたらふるってご参加頂きたいと思います。また、保護者の皆さま、役員に是非立候補して下さい。一緒に子供達を応援しましょう。

今後とも教育後援会へのご理解ご協力の程、何卒よろしくお願ひ致します。

やりたいことをやろう！

●自己紹介

みなさんこんにちは。2007年に電子科を卒業した本田和麻です。同じ附属高校OBで現エレクトロニクス・エネルギー・通信分野の卯花先生と同期と言えば、在校生のみなさまにとって分かりやすいでしょうか。

私は高校卒業後、同志社大学へ進学し、修士課程では東京工業大学に出戻りました。その後、某エンジニアリング系企業に新卒で入社して技術コンサルタントとして3年、某ITベンチャー企業へ転職してデータサイエンティストとして1.5年勤務した後、現在、某自動車メーカーへ再び転職して自動運転に関わる研究開発に従事しています。

高校を卒業してから約12年間、短いスパンで環境を転々としています。これまで、私なりにやりたいことを一貫して突き通して生きていると自負しています。

私の高校、大学、就職後の生活を簡単に振り返り、最後に在校生のみなさまへお伝えしたいことをまとめます。

●高校生活

私は小学校の時に触れてからずっと面白さを感じていたパソコンと、数学・理科・技術などの理系科目を追求したいと思い、附属高校の電子科に入学しました。

入学後の日々の専門的な授業や実験は楽しく、放課後や休日は、陸上競技部の中長距離の練習で皇居やお台場に行ったり、Supercon

などのプログラミングコンテストや情報処理技術者試験の対策のために弁当を買ってきて本館にこもったりなど、附属高校の環境を生かした充実した高校生活だったと感じています。

特に3年の時は「ニューラルネットワークを使った文字認識」をテーマとして、3人のチームで課題研究に取り組んだことが強く印象に残っています。いま流行の Deep Learning を見ていると、なんだか懐かしい気分になります。



プログラミングコンテスト Supercon の様子 (最右:私、隣:卯花先生)

2007年3月電子科卒 **本田 和麻**



高校生活を踏まえた進路選択の際、プログラミングコンテストで経験したスーパーコンピュータを使った大規模並列計算と、課題研究で経験したニューラルネットワークや遺伝的アルゴリズムなど人工知能的なアプローチを共に追求したいと思い、それらが両立できる研究室がある同志社大学へと進学しました。

●大学、大学院生活

同志社大学へ進学したものの、1~2年目の専門授業は高



同志社大学京田辺キャンパス

校で学んだような基礎的な内容が多く、少し物足りなさを感じる日々が続いていました。そこで、

その状況を打破するために、大学2年時に前述の研究室を主宰する先生へアポイントを取り、大学への進学理由や、研究内容を伝え、研究室へ潜り込むことへ成功しました。

その後は研究室の先生の指導を受けながら論文を調査したり、実際に遺伝的アルゴリズムをプログラム実装して数値実験を行ったり、また、大学3年時にはその結果をまとめて情報処理学会で発表するなど、大変貴重な経験を得ることができました。

先生から与えられた研究テーマは「巡回セールスマン問題(TSP)を遺伝的アルゴリズムで解く」というものでした。TSPの問題設定は極めてシンプルで、都市の集合が与えられた時、それらを一巡する距離が最短となる巡回路を求めるというものです。しかし、都市数が多くなるにつれて、スーパーコンピュータのような莫大な計算資源が必要となります。

このような背景のもとで研究を



ギュスターヴ・クールベ



フィンセント・ファン・ゴッホ

12万都市、18万都市のTSP (Art TSP) それぞれの絵が12万、18万個のドット(都市)で表されていて一筆書きとなっている巡回路の世界記録は私のアルゴリズムで得られている

進めていると、東工大に最強の遺伝的アルゴリズムを設計した先生が在籍していて、かつ、スーパーコンピュータ TSUBAME 2.0が導入されて計算資源が強化されることが分かりました。そこで、研究の更なる追求を図りたいと思い、その先生へアポイントを取って修士過程からは東工大へ移りました。

東工大へ移ってから、前述の先生の指導を受けながら自身がやりたいと思っていた研究に没頭させてもらいました。前述の通り、TSPは問題設定がシンプルゆえに成果を出すことが極めて難しく、修論提出まで本当に辛い時期が続きました。しかし、最終的には TSUBAME 2.0をフルに活用して10万都市規模のTSPにおいて世界一の結果を得ることに成功し、この成果は私の一つの大きな自信へと繋がっています。

●私のこれからの目標

修士過程を終了した後、博士課程に進学してアカデミックに残るのか、一般企業へ就職するのか迷いましたが後者を選択しました。その主な理由は、高校の時から学び続けてきた情報技術を、より安心・安全な世の中を作るために活かしたいと考えたためです。

その実現のために、某エンジニアリング企業で高層ビルからの緊急避難シミュレーションを活用したコンサルティング業務や、アルゴリズム開発や並列計算の知識を活かしたその研究開発業務からキャリアを開始しました。現在は、某自動車メーカーで数年から数十年先を見据えた、よりよい交通社会の実現に向けた自動運転技術の研究開発業務に従事しています。自動運転の実現のためには多くの技術的な課題があり、その解決のために、これまでに高校~企業で学んできた情報技術をフルに活用するやりがいのある日々を過ごしています。



自動車メーカー繋がり友人とドライブに行った時の写真 (手前:私所有の86、奥:友人所有のCIVIC)

●在校生のみなさんへ

以上、長々と自身の話を書きましたが、私が在校生のみなさんへお伝えしたいことはシンプルに2つで、「将来、どんなことをやりたいか考えよう」、そのために「今の環境を生かしてできることを考えて行動に移そう」ということです。基本的に普通科の高校ではなく、附属高校を選択している時点で、在校生のみなさんには何か目標があるかと思います。ぜひ、在学中にその目標を可能な限り具体化し、それを実現する方法を考えて行動に移してほしいです。行動が早ければ早いほど、自分のやりたいことの実現に近づけると私は考えます。

あと、考え方を共にできる高校の友人は繋がりが強くなっていくかと思えます。3ヶ月に1回は学科を問わずに誰かとお会いして、電子科の同期とは年末に必ず忘年会、定期的に鉄板焼屋に行く友人、しまなみ海道などロードバイクを一緒に乗りに行く友人、自動車メーカー繋がり友人など様々です。様々な分野で第一線で活躍している人が多く、卒業してからも話を聞いていると楽しいですよ！



しまなみ海道へロードバイクを乗りに行った時の写真

第14回シェフ大塚お料理教室

2018年1月27日(土) 10:30~14:00
本校1号館3階 家庭科実習室にて

～受験1か月前の能力アップと生活対処法

シェフ：大塚 義夫

受験日が近づいてくると本人はもとより、家族全体がびりびりして、ストレスも最高潮に達します。できるだけ平常心で生活できるようにすることが大切です。お正月が過ぎるとラストスパートの時期、夜型の生活に傾いている人は、早寝早起きを心がけ、朝型になるように徐々に修正していきましょう。家族が必要以上に気を使うことはマイナス効果、親はゆとりを持つことが大切です。

ゆとりをもって生活をしよう

受験日は真冬の一番寒いとき、風邪を引かないように万全の対策を取りましょう。1か月前だからといって急に慌てても、体力アップは望めません。食べ物や日常の生活習慣を急に変えたりしないで、少しずつ受験体制にもっていきます。

夜型に傾いてしまった人は、なるべく朝型になるように、少し早めに起きる習慣をつけましょう。そのためには、早めに夕食を済ませて床につくように習慣づけます。朝食をきちっと食べ、トイレに行く習慣も身につけておきましょう。

寒い時期ですから外から帰ったら、うがい、手洗いを忘れずにすることが風邪予防には効果があります。体が温まるようなシチュー、鍋物などで家族揃って食べられるように心がけること。たっぷりの野菜と栄養バランスがとれた食事、ゆったりした雰囲気づくりを心がけることが大切です。温かい食べ物は風邪予防にもなりますが、気分をリラックスさせる効果もあります。家族の人たちが必要以上に気を使ったりすると、かえってストレスになる場合がありますので、変わらぬ態度で接することが大切です。

ラストスパートの時期は緊張感から食欲をなくしてしまう場合があります。食べられなくなると体力は弱り、思わぬアクシデントにみまわれかねません。1分でも時間を無駄にしたいときかもしれません。しかし、食事やお茶をする時間ぐらいはゆっく



り持ちたいものです。子どもの心の状態は日常生活の中から感じられるものです。「頑張れ!!」とハッパをかけるのではなく、「大丈夫だよ!!」と気分を落ち着かせる言葉をかけてあげられるように、親がゆとりをもつことが大事です。



<チキントマトクリームシチュー>

【材料】7~8人分レシピ

鶏むね肉2枚	塩、こしょう各適量	
しめじ2パック	水500ml	
キャベツ1/4個			
バター40g	A {	カットトマト缶1缶(400g)
薄力粉大さじ6		牛乳300ml
にんにく小さじ1		コンソメの素大さじ2
粉チーズ大さじ2			
ピザ用シュレッドチーズ大さじ4		トッピングに冷プロセスの小分け	
片栗粉適量		又はおき枝豆	
			(1人分 358kcal 塩分2.0g)	

【作り方】

- ①(下ごしらえ) 鶏肉はそぎ切りにして小さめの一口大に切り、片栗粉をまぶす。キャベツはざく切り、しめじは小分け、ニンニクはみじん切り。
- ②鍋にバターを熱し、ニンニクを弱火で炒めて香りが出たら、キャベツ、しめじを加えて炒める。全体にバターがなじんだら、薄力粉を振り入れて混ぜ、粉っぽさがなくなったら、水を少しずつ加えてなじませる。
- ③Aをすべて加えて煮立たせ、鶏肉を加えて、ときどき混ぜながら15分煮る。
- ④粉チーズ、塩、こしょうを振り、シュレッドチーズを加えてひと混ぜする。



<ターメリックピラフ>

【材料】8人分レシピ

白米4合	バター30g	
ブロックベーコン又は粗挽ウインナー120g	パプリカパウダー少々	
玉ねぎ(中)1個	A {	塩小さじ2
にんじん1/2本		ターメリック小さじ2
			コンソメスープの素小さじ2

【作り方】

- ①ベーコン、玉ねぎ、にんじんは1cm角に切る。
- ②フライパンにバターを熱し、ベーコンを炒める。玉ねぎ、にんじんを加えて炒め、玉ねぎが透き通ってきたら、火を止める。
- ③米は炊飯器の内釜に入れて洗い、A、少量の水を加えて、ざっと混ぜ合わせる。4合目盛りまで水を加えて全体をざっと混ぜる。
- ④炊飯が終わったら、上下を返すように混ぜる。

※チキントマトクリームシチューと一緒にのお皿に盛って、パプリカパウダーを少し振りかける。



<ジャーマンポテトサラダ>

【材料】7~8人分レシピ

粗挽ウインナー6本	粒マスタード大さじ1
ベーコン6枚	ワインビネガー大さじ4
じゃが芋6個	塩、こしょう各少々
玉ねぎ2個	サラダ油大さじ1
		マヨネーズ大さじ3

サラダ油.....大さじ1
にんにくみじん切り...小さじ1
パセリのみじん切り...小さじ3
(1人分 359 kcal)

【作り方】

- ①じゃが芋は皮をむいて一口大に切り、茹でて水気を切る。
- ②ウインナーは斜めに3~4つに切り、ベーコンは1cm幅に切る。玉ねぎは薄切りにする。
- ③フライパンを熱してベーコンを炒め、カリカリになったら火を止めてボウルに移し、Aを加えて混ぜ合わせる。
- ④③のフライパンにサラダ油を熱して、にんにく、玉ねぎを炒め、ウインナーとじゃが芋を加え、さらに炒め、③で炒めたカリカリベーコンを加えて、ざっと混ぜ合わせる。
- ⑤人数分に盛り、パセリのみじん切りを振る。



<パプリカのカラフルマリネ>

【材料】8人分レシピ

パプリカ(赤・黄・橙)種を取って400g
オリーブオイル大さじ3
白ワイン大さじ3
酢大さじ1
塩小さじ2/3強
にんにく1/2かけ
イタリアンパセリ	適量
(1人分 242 kcal)	



【作り方】

- ①パプリカは縦に2cm幅位に切り、赤・黄合わせて1/2個をすりおろす。
- ②小鍋に①を入れ、Aを加えて中火で煮る。煮立ったら弱火にし、フタをして7分蒸し煮する。
- ③火を止めてそのまま冷やし、さらに冷蔵庫でよく冷やして人数分に分け盛ります。トッピングに緑の葉を飾る。

<ブルーベリーのアーモンドマフィン>

【材料】8人分レシピ(直径6cm高さ4cm型×8)

卵2個
グラニュー糖60g
アーモンドミルク90cc
太白ごま油大さじ3
ブルーベリー(冷凍)70g

A { 薄力粉.....170g
ベーキングパウダー.....5g

【作り方】

- ①ボウルにAを合わせて、泡立て器で混ぜる。
- ②別のボウルに卵、グラニュー糖、アーモンドミルク、太白ごま油、①の順に加え、その都度、泡立て器で混ぜ、最後に凍ったままのブルーベリーを加えて混ぜる。
- ③型に流し入れ、180℃のオーブンで20分ほど焼く。



アンケート

- 大塚シェフが気さくに声をかけてくださり、楽しく料理できました。シェフの模範調理をもっと見たいです。
- 手に入りやすい食材と作りやすいレシピで、美味しかったです。次回も簡単に作れる洋食だと嬉しいです。
- 上級生や卒業生の保護者の方と調理しながら交流ができて楽しかったです。
- 短時間でフルコース並みのメニューを用意できて大満足です。家族にも早速作って、子供に覚えてもらおうと思います。
- できあがった料理を並べてみて、色彩のすばらしさに感動いたしました。普段はまったく気にしていませんでしたが、華やかさも大切なのだと思いました。
- いつもレトルトのシチューの素で作っているのが今回はとても勉強になりました。次回も楽しみにしています。

この他にも多数の貴重なご意見とご感想を頂戴しました。今後の参考にさせていただきます。ありがとうございました。

第10回 庭園見学会 報告

総務・会計 村田 幸久



10回目を迎えました恒例の庭園見学会は11月25日に実施しました。当日は好天気に恵まれ、秋晴れの中、午後2時、重要文化財に指定されている旧岩崎邸庭園のサービスセンター前に集合しました。参加者は在校生の保護者27名、OBの保護者7名、伊本会長をはじめ役員30名、今田・東両先



生2名を含めると合計66名となりました。見学に先だって事前に準備した参考資料を配りましたが、ご覧になる余裕があったかどうか、館内は大変な混雑ぶりでした。その概略を報告いたします。



旧岩崎邸庭園は明治29年(1896)に岩崎彌太郎の長男で三菱第3代社長の久彌の本邸としてイギリス人の建築科ジョサイア・コンドル(1852~1920)

によって建てられました。コンドルは明治10年(1877)に「お雇い外国人」の一人として来日しました。日本近代建築の父ともいわれ、日比谷の鹿鳴館(ろくめいかん)や神田のニコライ堂など数多くの名建築を設計しています。旧岩崎邸はコンドルの最高傑作の一つともいわれています。



旧岩崎邸は正面にドーム状の四角錐の塔屋(とうや)をいただいた左右対称の建物です。外壁が今回の改修工事によって明るいグレーに変身(今まではクリームイエロー)して、落ち着いた風格のある建物になりました。

入り口は洋館ですが、内部は洋館と和館(書院造り)とが併造されている造りとなっています。大人数だったものですから、大きく2つに分かれ、前後少しずつ時間をずらして入館することになりました。私は前の組の一員として入

館しました。入場しますとカクシャクとした御婦人が待機されていて、ガイドをして下さいました。最初に3代当主の書斎に案内されました。

この書斎は戦後GHQによって接收され、キャノン機関の本部として使われたため、壁紙は塗料でおおわれていたのだそうです。返還後、塗料を落としたところ、緑地に花模様を施した金唐草紙(きんからかわかみ 複製)が現れて、それが今日、目にしている壁紙であるという説明でした。

この金唐草紙の壁紙は、復元されて館内の客室や婦人客室などに張られて壮観ですが、中でも2階客室の壁紙は青地に花模様を金色で浮かびあがらせた大変ゴージャスで見事なものです。もともとは江戸時代にオランダから入ってきた革製品を、平賀源内(ひらがげんない)が江戸後期に和紙で模倣して作ったのが始まりといわれています。それが明治期に入って鹿鳴館の壁紙として用いられて有名となったものです。

このあたりで、コンドルの邸宅建築の特徴をまとめておきます。



- (1) ジャコビアン様式(17世紀初頭イギリスの建築・家具の様式、細微な植物文様)を中心とした重厚さ、華麗さ
- (2) 婦人客室の大理石の暖炉のように、イスラム風の意匠や装飾の緻密さ、華麗さ
- (3) イオニア式(柱頭に巻き貝をあしらった装飾)の列柱と広いゆったりとしたベランダのプランニングなどです。

そして、和館(書院造り)に移ります。廊下づたいに行きますと右手に和風庭園をみることができます。庭園見学のメインテーマともなりますので、説明を要するでしょう。

この地は江戸時代の榊原氏や明治初期の牧野氏の屋敷があり、往時の庭は大名庭園(だいまようていえん)の形式を一部踏襲(とうしゅう)していたのです。

旧岩崎邸の庭園は、千メートル四方ぐらゐのスペースですが、中央に春日燈籠(かすがどうろう)、手前に手水鉢(ちようずばち)、奥に小型の袖型燈籠(そでがたどうろう)、庭石、モッコク(椿科の常緑樹で夏に黄白色の花を咲かせる)などが配置されていて、往時の面影をしのぶことができます。いわば心安らぐ癒しの空間といつてよいでしょう。

やがて大広間に入ります。床の間には明治期の代表的な日本画家・橋本雅邦(はしもとがぼう)が下絵を描いたと伝えられる富士山の障壁画が伝わっています。それは襖の下方にその下絵が展示してあって、それによると富士山と松原をイメージされていて、雄大な構図が想

像できます。おおよそ1時間にわたって説明されたガイドさんに感謝の気持ちを述べて後にしました。すでに見学を終え、陽光を浴びて待っておられた皆さんと3時半頃、建物を背景に記念撮影をして見学を終りました。秋日和、明治の時空へ廻り、実りのある一時だったと思います。誠にありがとうございました。



HR教室の扇風機設置について

副校長 仲道 嘉夫

教育後援会の皆様、いつも本校の教育をサポートして頂き、誠にありがとうございます。本年度はHR教室に扇風機を設置させて頂きました。本校のHR教室はエアコンが入っているのですが、風の当たるところとそうでないところがあり、エアコンのスイング機能を使っても、ここの席は暑い、ここは寒い等、温度のばらつきがありました。また、エアコンを付けるほどでもないけれど、ちょっと暑



いときなど、扇風機があるとほほどの温度で涼しく感じるこ

とができます。大変有用であると考えました。実際の工事は夏休み中に行われましたので、本年度は2学期の秋の暑い日などに活躍しました。

この度の扇風機については生徒が長い時間滞在するHRを考えますと、授業環境の改善に大変役立っており、大変感謝しております。今後とも、生徒の学習環境に注意を払ってまいりますので、これからも皆様方からのご後援よろしくお願いたします。



弟燕祭バザー

教育後援会では、弟燕祭(文化祭)期間中の10月14日(土)、15日(日)の2日間にわたって、毎年恒例の「バザー」を開催いたしました。今年度も皆さまから多くの品物をご提供いただき、お客さまも大勢お越しくださり、大盛況のうちに終了いたしました。今年度も売上金額が過去最高を更新して、245,330円となりました。

品物を提供してくださった皆さま、当日購入してくださった皆さま、厚く御礼申し上げます。

これまでもバザーの売上金を活用し、除細動機(AED)の設置や、教材用の車椅子、レスキューセットの購入など、生徒の安全や教育活動に役立つ物を寄付させていただいております。今年度の売上金も学校と相談の上、活用させていただきます。



教育後援会だより 第19号 平成30年3月2日発行

東工大附属高校教育後援会 発行人 伊本 淳平

オフィシャルホームページ <http://tokodaihuzoku-koenkai.com>

印刷所 株)あおむし Tel.050-5803-3564